



「トレジャーハンター」2月6日実施のモニタリングツアーにて、雪の下キャベツの収穫に挑む生産者と参加者

B2

ニュースレター

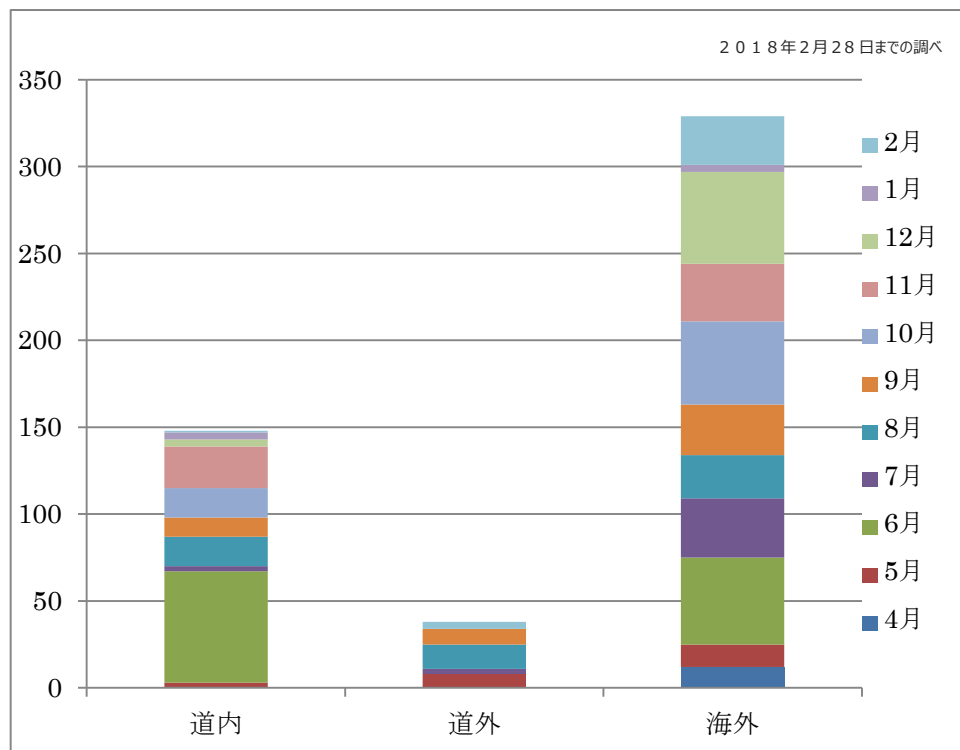
2018/2/28

～冬のオススメイベント～

冬のくろまつないフットパス 3月11(日)

個人向け体験商品 集客数 前年比 137%増

平成 27 年(10 月より)に販売を開始した個人向け体験商品は、F.I.T (foreign individual tourist:外国人個人旅行者)の集客を中心に年々増加している。昨年度、協会における個人旅行者の年間受入数は 360 人だったのに対し、今年度は、2 月までの調べで 494 人に達した。また、昨年度不調だった 8 月の受入数が国内客、外国人客共に増加した。好調の要因として、OTA (Online Travel Agent : インターネット販売の旅行会社) からの送客による夏休み期間中の「はじめての釣り体験」への申込みが伸びたことが大きかった。(観光協会事務局)



秘境駅・小幌への旅 文：本間崇文

当協会では、地域の体験交流を楽しんでいただけるよう近隣町村を含め、様々なアクティビティを提供している。お隣の豊浦町には、全国ナンバーワンの秘境駅 JR 小幌駅がある。今回は、黒松内からもアクセスしやすい小幌への小旅行をご紹介します。 ページ 2

山に登れば気分爽快 文・写真：辻野健治

黒松内のエキセントレッキング・ガイド辻野健治が、日本で最も太平洋に近い中央分水嶺の魅力に迫る。登山道はないだけに、積雪期でなければあることのできない黒松内にある中央分水嶺。3月11日のイベントを前に筆者もワクワクしている。 ページ 3

じり通信 No.6 文：山本竜也

函館図書館にこもり、膨大な量のアーカイブから黒松内山道にまつわる記事を探した筆者。その記事は、北海道新聞史の歴史のはじまりともいえる明治 11 年 1 月 17 日に発行された函館新聞に掲載されていた。 ページ 3

<イベント情報>

冬のくろまつないフットパスイベント

2018.3.11(日)「中央分水嶺」を歩く
日本で最も太平洋側に近い分水嶺が本町の太平洋側大成地区付近にあります。分水嶺とは、日本海側と太平洋側に注がれる雨水の境界線で、全国の分水嶺を歩く「分水嶺ウォークマニア」もいるようです。問い合わせは、黒松内町フットパスボランティア事務局まで。TEL:0136-72-3376

秘境駅小幌への旅 文 本間 崇文

●見所いっぱい秘境駅トレッキング

全国秘境駅ランキングで1位に輝く「JR 小幌駅」は、鉄道保線のために作られた駅で、鉄道と船舶、そして、徒歩以外では接近が困難とされている秘境中の秘境駅である。当会でも体験交流観光の体験商品として、通年で小幌駅を目指すトレッキング商品を販売している。JR 駅へ向かう徒歩の旅ということで「鉄オタのプログラム」と侮ってはいけない。このコースは、実に変化に富んだ小旅行を楽しむことができるのである。山から海へ、沢地を下り小幌湾までのルートは予想以上に険しい。しかし、苔岩や伐採されずに残った巨木などの自然景観、1666年に円空が仏像を彫った小幌洞窟の岩屋観音、両岸が大岩でふさがれたプライベートビーチという風情の浜、その入江の中心にポツリと残る妙な栈橋、内浦湾を望むことができる海岸線の山道、100m前後の断崖が海面からそそり立つ地形など、目的地となる小幌駅までの道中には、豊かな自然・歴史、産業遺産をはじめ、洞爺湖有珠山ジオパークの一部として、めずらしい地形などを体感できる。

●小幌駅

岩屋観音から歩くこと約30分、トンネルに挟まれたわずか80メートルの谷間に小幌駅（豊浦町）はある。特急列車なら見つけるのも困難であろうこの駅には、保線員用の詰め所と昨年できたバイオトイレのみ。十数年前までは、一般客が使える待合所と「小幌仙人」と呼ばれる人が暮らしていた住居らしきものがあつたようだが、今はその痕跡しか確認することができない。小幌駅からは文太郎浜と呼ばれる海岸へ出られる。海岸は一人占めでき案外、気持ちがいい。秘境駅トレッキングの旅は、小幌駅から往路と同じ道で、沢地を登り返しスタート地点へ戻るという行程が一般的。しかし、協会が主催するプログラムでは、小幌駅からJRに乗り（片道乗車券@220円）、静狩駅へと向かい、静狩駅からは迎えの車に乗り、黒松内へ戻るという行程だ。2014年より、ブナ北限の里ツーリズム（2016年に当協会と統合）では季節のイベントとして、小幌トレッキングを過去3回実施、人気イベントとなった。黒松内発着の小幌トレッキングツアーの所要時間は約4時間でガイドが同行する。詳しくは、協会事務局までTEL:0136-72-3597（黒松内町観光協会・事務局長）



～パン食のススメ～ 食パンのはなし 文：sawa(ko)

突然ですが、みなさん朝ごはん派でしょうか？それともパン派？

黒松内には道の駅とマザーネチャー、2軒のパン屋さんがあります。今日はそんなパン屋さんの食パンのはなし。。。パン屋さんの食パン。一度食べたらずみつきで、すっかり舌が肥えてしまい、スーパーのパンを味気なく感じたりします。さて、食パンって何の気なしに5枚か6枚くらい切った袋を一袋お買上げすることが多いと思いますが、パン屋さんでは裸の状態ですべて売っています。そして、値札には1斤いくらとの表示。一袋をお買上げすることに慣れた身にはよくわからない表現。斤ってなんですか？

【斤とは】ざっくり言うと昔の重さの単位。今はほぼパンでしか使いません。現在は1斤=340グラム（以上）。斤については理解できましたが、もう一つ悩ましいのは枚数。1斤を何枚に分けたかという話ですが、実際の厚さって？とはいえず1斤は重さ。重さだけじゃ大きさはわからないといえばそれまでですが、大体は6枚切が1.8~2cm、5枚切が2.2~2.5cmくらい。ある程度、型のサイズが決まっていますからね。



～山に登れば気分爽快～ 秘境まだまだ！その十「日本中央分水嶺・・・黒松内を通る」

文・写真 ノースランド 辻野健治

こんにちは～ ブナの森登山ガイド 辻野でした。いやいや、積雪深が 188cm

(2018.2.28) になり、黒松内の平均値は 130cm なので、もうわやです。

今回は、黒松内周辺の秘境話とゆーか、日本中央分水嶺についての話。まず中央分水嶺とは、地理学的用語で、稜線に降った雨が、日本海に流れるか、太平洋に流れるかの境目となる稜線の事を言います。日本の脊梁である中央分水嶺は、行政界や産業、生活様式の境目となっています。島国日本を約 4500km に渡り繋がる中央分水嶺の稜線に登山道がついているのは、全体の 2 割しかない。せば、この嶺 (レイ) を歩くのは、秘境探検そのもの。それが結え、ロマンをかき立てるしよ。

その中央分水嶺、黒松内を通っております。町界の南端で黒松内川源ピーク 561m から、朱太川源流金山 (500.9m) が中央分水嶺となっています。さらに、朱太川水系来馬川の源流付近の小幌駅の西側が、日本で一番海に近い中央分水嶺でした。その距離約 200m 程度しかなく、最狭窄部となっているんだべさ。この名譽ある区間？ には、歩道が無く、無雪期は歩かさんないです。今回の黒松内冬のフットパスでは、ここを歩きます。切り立つ岩壁を垣間見つつ、車の走行音に心ざわめかせ (笑) 私と一緒に歩きましょう。北海道弁が、世界語？ になったことを、なまらはしゃいでいる、辻野でした。したっけ。



じり通信 No.6 「新聞を調べる」 文 山本 竜也

昨年 9 月、黒松内町観光協会に招かれ、町民や観光客の皆さんの前で講演する機会を与えていただいた。1868 年 (明治元) の人口の話に始まり、黒松内の歴史に関わる写真や資料をいろいろ紹介したが、最後に駆け足で話した「新聞記事に見る黒松内」に対する反応が、私が予想していた以上に良かったように思う。そこであらためて、文章でも残しておきたいと考えた。

北海道に図書館は数多いが、過去の新聞を調べるうえで最も便利なのが函館市中央図書館である。他では、マイクロフィルムで閲覧するしかない新聞が、ここでは、印刷・製本されており、自由に手にとって調べることができる。2008 年 (平成 20) の冬から、私はその調査を始めた。当時住んでいた室蘭を朝 6 時頃に発ち、9 時半の開館と同時に図書館に入る。職員が古紙で作っているしおりを何十枚も借りて、新聞製本を一枚ずつめくる。南後志 3 町村の記事があれば、しおりをはさみ、3 ヶ月分ほどを見るとコピーに移る。閉館の 20 時まで、この作業を繰り返す。昼と夜、すこし表に出るだけである。慣れてくると、1 ヶ月分の新聞は 30 分で読むことができるようになった。おおよそ一日で 1 年半分の新聞をチェックできる計算である。翌日も開館から閉館まで図書館にこもり、帰宅は深夜になった。帯広に転勤すると、2 泊 3 日で函館行きを予定を組んだ。そして、南後志関連記事の約 60 年分のスクラップ帳という財産が手元に残された。

北海道の新聞史は、1878 年 (明治 11) 1 月 7 日に発刊された函館新聞を嚆矢とする。じつは、この創刊号に黒松内が載っている。「胆振国山越郡長万部より西海岸なる後志国寿都郡中歌村へ出る黒松内山道九里の間は山間の僻地にして…」と始まり、牛馬はもちろん人間の通行もできかねる悪路であるため、この年の春から新道の敷設工事を行うと書いている。翌号以降の紙面も追っていくと、人夫が何百人も入ってきたこと、酒や賭博に夢中になる者がいたこと、脚気をわずらう者がいたことなど様々な逸話を拾い出せる。新聞には、日々の出来事を記録し続けるという長所がある。これを使えば、従来とは違った町の歴史を描きだせるのではないかと私は考えている。

(山本竜也・歴史研究者・札幌在住・気象庁勤務)



明治 11 年 1 月 7 日に発行された函館新聞、

BOOKS

「アウトドア&感動体験ガイド」

花岡俊吾 / 著 北海道新聞社 1,574 円 + 税

“知らない世界は楽しい”

北海道を遊びつづけるためのガイド本がこの一冊だ！

北海道の豊かな自然。山、川、湖、海、人の営みと文化を求めてやってくる国内外の観光客が道内でどのような冒険をしているか。また、どのようにどさんこと交流しているのか。著者である花岡俊吾氏は、(株)北海道宝島旅行社でクリエイティブ・ディレクターを務め、年間 100 日以上をかけ、道内各地のアウトドアガイドを訪ね歩き、現地のプログラムを体験。自らフォトグラファーとして写真を撮り、原稿を執筆する。犬ぞり、気球、ラフティング、カヌー、乗馬、釣り、自然体験などのアウトドア体験や陶芸、蕎麦打ち、農作物の収穫、漁師さんや農家さんとの料理体験など北海道内の体験プログラムを網羅した本書を手にとると、北海道を冒険したくなる。道外や海外からやってくる観光客との交流をもっと深めていくには、自分自身が冒険の旅に出かけ、来訪者と旅の感動を共感することも必要ではないだろうか。



求む ユーズド・スキーウェア！

雪国の暮らしや野外でのアクティビティーを楽しみに、東南アジアから北海道を訪れる旅行者は年々増加傾向にあります。黒松内でも雪遊び、スノーシュー、スノーモービルなどの体験にいらっしゃるアジアからのファミリー層が増えていることから、来冬は、スキーウェアの購入を検討しています。同時に、ご自宅でいらなくなったスキーウェア、ゴーグル、ヘルメット等を譲っていただきたく、来月より秋頃まで協会にて中古品(5 年落ちくらいまで)の買い取りをさせていただきます。不用品のある方は協会までご連絡を！

TEL:0136-72-3597、E メール：bunasatotourism@gmail.com



一社) 黒松内町観光協会会員一覧

役員

代表理事・小間 憲二・小間旅館、副代表理事・田中 春治・(有)田中商店、副代表理事・鈴木 昭文・(有)共栄商会、理事・菅原 正久・(有)菅原商会、理事・茂尾 実・サン工芸、理事・五位尾 肇・五位尾商店、理事・菅原 圭介・(株)スガワラ、理事・小谷 孝夫・黒松内銘水(株)、監事・及川 雅子・及川旅館、監事・相澤 雅也・相澤精肉店

正会員の皆様

明上山 ノリ 様・(有)黒松内ハイヤー、池田 重人 様・(株)池田商店、坂下 英清 様・坂下薬局、佐藤 時彦 様・(有)五十嵐時計電器店、黒羽 修平 様・黒羽商店、出口 久弥 様・(有)デグチ板金、清水 目 浩一 様・(有)名取商店、磯谷 恵美子 様・いそや理容店、北海信用金庫黒松内支店 様、江尻 弘 様・黒ひび、亀岡 利明 様・(株)亀岡組、小笠原 喬 様・川崎士建(株)、木村 淳一 様・(株)木村建設組、清水 悦子 様・パロマ理容院、荒井 秀章 様・栄寿し、今井 順子 様・今井たばこ店、三浦 義也 様・とうふ処みうら、佐藤 雅彦 様・(株)ブナの里振興公社 様、高木 晴光 様・ぶなの森自然学校、富田キクエ 様・ふあーむいん富田、辻野 健治 様・ノースランド、渡辺尚幸 様・NPO 法人ひまわり、阪井 大輔 様・黒松内郵便局、佐々木 賢一 様・道南エア・ウォーター (株) 黒松内サービスセンター

観光協会HPにて「B2」バックナンバーがご覧になれます。www.bunasatotourism.com 印刷版ご希望の方は黒松内町観光協会までご連絡願います。